

「IPプロデュースコース」開設記念シンポジウム

オンライン
同時開催

※参加には申し込みが必要です。

コンテンツビジネスの
未来を拓く

神戸松蔭大学では、
文化芸術活動基盤強化基金
クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）の
採択を受け、「IPプロデュースコース」を開設します。
本コースでは、コンテンツ分野における
IP（知的財産）の開発からグローバル展開までを見据え、
ビジネスを総合的にプロデュースできる人材を育成します。
本シンポジウムでは、産官学の多様な立場から、
IPを活用した新たな価値創造や教育のあり方、
社会的意義について議論を深めます。

グローバルで輝くIPのチカラ

2025
11/1 SAT
14:00~17:00

シマブンビル 4Fホール
神戸市灘区岩屋中町 4-2-7 BBプラザ内

阪神電車岩屋駅南側すぐ。
JR灘駅徒歩約5分。

対象

コンテンツ関連企業、クリエイター、コンテンツ産業への参入を検討している企業、学生、教育関係者、一般市民、コンテンツ産業に興味がある高校生

定員

150名

後援

近畿経済産業局、神戸市、
大都市圏神戸産官学プラットフォーム

主催

神戸松蔭大学

申込締切日

10/27 MON
17:00 まで

お申し込みはこちらから


<https://forms.gle/m4TwEUAr4fLyKdYK6>

プログラム

- 14:00 主催者挨拶、コース紹介（神戸松蔭大学学長 徳山孝子）
14:10 基調講演「IPが拓くグローバルビジネス、日本のコンテンツ産業の現状と展望」
（講演者：田邊幸太郎氏）
15:00 休憩
15:15 パネルディスカッション「今、IP・コンテンツビジネスのグローバル展開に求められる人材」
（モデレーター：砂川浩慶氏／
パネリスト：伊東久美子氏、田邊幸太郎氏、海老澤美幸氏、石田原弘）
16:45 質疑応答
17:00 閉会挨拶

登壇者

株式会社ライツ・アンド・プランズ
代表取締役社長

伊東 久美子氏

三村小松法律事務所
弁護士／ファッションエディター

海老澤 美幸氏

立教大学

社会学部長・教授

砂川 浩慶氏

三村小松法律事務所
弁護士

田邊 幸太郎氏

神戸松蔭大学
客員教授

石田原 弘

登壇者の紹介は裏面をご覧ください

登壇者紹介



立教大学
社会学部長・教授

砂川 浩慶氏

民放連で地上波デジタル移行や著作権制度に長年携わり、2006年より立教大学へ。現在は社会学部教授として、メディア制度・コンテンツ流通・放送政策などを専門に研究。著書に『安倍官邸とテレビ』など多数。



株式会社ライツ・アンド・ブランド
代表取締役社長

伊東 久美子氏

外資系飲料メーカー等でマーケティングやSCMに従事後、ビジネススクールへの進学・留学、国際機関での業務を経験。専門商社で北欧ブランドの展開を手がけ、2021年より現職。博士(東京工業大学(現・東京科学大学))。国内ビジネススクールでも講師を務める。



三村小松法律事務所
弁護士

田邊 幸太郎氏

アニメ・マンガ・ゲームなどのキャラクタービジネス分野で企業や個人を多数支援。弁護士として業界実務に即したアドバイスをを行うとともに、内閣府知的財産戦略推進事務局の参事官補佐(非常勤)を務め、コンテンツ政策にも精通する。



三村小松法律事務所
弁護士／ファッションエディター

海老澤 美幸氏

ファッション誌編集やスタイリスト経験を経て弁護士に転身。ファッションやクリエイティブ分野に強みを持つ。法と産業の架け橋となるべく、現場経験を生かし、実務に即した支援を行っている。



神戸松蔭大学
客員教授

石田原 弘

大学卒業後、数々のブランドビジネスに携わる。現在、(有)石田洋服店の代表を務める傍ら、神戸タータンなどの企画を通じて地域ブランディングや産学官連携を推進。教育現場では実務経験を活かし、さまざまな課題解決授業を進める。

IPプロデュースコースの5つの特徴

1

IP・コンテンツビジネスの経営から制作まで、幅広い知識を修得

4年間のカリキュラムは以下の4つの分野に分かれており、IPプロデュースに不可欠な経営、法務、企画、制作に関する幅広い知識を体系的に修得できます。

ビジネス・マーケティング

ブランドプロデュース演習、会計実務など

コンテンツビジネス

ファッション企画演習、メディアミックス演習など

IP(知的財産)

IP関連法、IPプロデュース演習など

コンテンツ制作

AI演習、撮影技術演習など

2

世界市場で活躍できるグローバル人材を育成

制作したコンテンツは「ムーミン」の日本におけるライセンスの全面協力のもと、国際的に評価の高い、欧米最高峰のトレードショーに出展します。(一部自己負担、選抜あり)

3

産官学連携による実践的な課題解決授業

IP、コンテンツビジネスを展開する実務者を講師として招きます。また、「ムーミン」のライセンスや、神戸市関連部局、神戸市外郭団体などの協力のもと産学官連携を深めます。

4

大学独自の、IPを活用したユニークな授業

本学が商標権を持つ「神戸松蔭タータン」や、グッズや小説、アートなどで世界的人気のある「ムーミン」などを利用し、商品の企画や制作、販売を行います。また、2008年の学科創設以来培ってきたファッション関連のデザイン、制作もIPの一環として学ぶことができます。

5

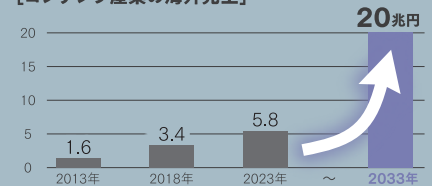
幅広い可能性を秘めた卒業後の進路

4年間の実践的な学びを通じて、IPやコンテンツビジネスに強い人材を育成します。急成長する業界で即戦力として活躍できるだけでなく、国内外での経験はグローバル企業での活躍にも繋がります。また、IPの開発や海外展開などで起業する道も拓かれています。

日本のコンテンツ産業をリードする、IPプロデュース人材を育成

アニメやマンガなどのコンテンツの海外売上は、鉄鋼や半導体並みに急成長しており、政府は2033年に自動車産業と同規模をめざしています。さまざまなコンテンツを生み出す優れたクリエイターが活躍する一方で、日本ではまだまだIPの正しい知識を持ち、その開発や育成、メディアミックスやローカライズ(IPを輸出して他の国に対応させること)などを行い、世界市場でプロデュースできる人材が不足しています。IPプロデュースコースでは、IPビジネス、コンテンツビジネスに関わる幅広い知識を修得し、将来、IPの開発、育成やそれらのビジネスのプロデュースができる「ジェネラリスト的」視点を持った人材をめざします。

【コンテンツ産業の海外売上】



出所:経済産業省「日本の産業の海外売上額推移(2010年-2023年)」、「エンタメ・クリエイティブ産業戦略〜コンテンツ産業の海外売上高20兆円に向けた5ヵ年アクションプラン〜」をもとに作成

